



みやぎ こども幸福計画

こう ふく けい かく
(令和7年度～令和11年度)

けい かく あん たい い けん けん かんが かた
計画案に対する意見のまとめと県の考え方

みや ぎ けん
宮城県

けいかくあん たい い けん けん かんが かた 計画案に対する意見のまとめと県の考え方

みやぎ けん
宮城県では、みやぎの未来を創っていくこどもを健康に育てるため、そしてこどもを育
てやすい社会をつくるための計画「みやぎこども幸福計画（令和7年度～令和11年度）」
をつく さい
を作る際に、こども・若者のみなさんの意見を聞きました。

みなさんから出された意見のまとめと、それに対する宮城県の考え方は次のとおりです。

い けん き ほうほう 意見を聞いた方法について

い けん ぼ しゅう き かん 意見を募集した期間

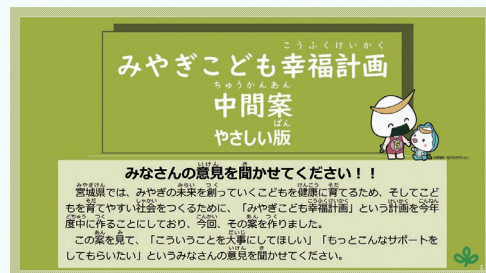
れい わ ねん がつ にち けい わ がつ がつ にち
令和6年12月13日から令和7月1月14日まで

う け つけ ほうほう 受付の方法

インターネットでの申請、電子メール、郵便、FAX

い けん き さい く ふう 意見を聞く際に工夫したこと

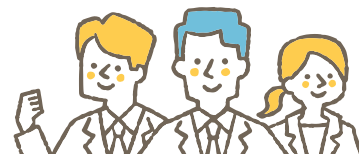
- ・わかりやすい表現で内容をまとめた「みやぎこども幸福計画中間案やさしい版」を作成しました。
- ・チラシを作成して県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等にお知らせしたり、facebookやウェブサイトで呼びかけたりしました。



よ せ ら れ た い けん
寄せられた意見



けん かんが
県の考え方



けいかく ひろ し 計画を広く知らせることについて

- ・多くの県民に計画を理解してもらうことが大切だと考えました。
- ・計画を役所や県内の大型施設でテレビ放送したり、学校で放送をしたりすると良いなと思いました。
- ・児童生徒にQRコード付きパンフレットを配布して、学校のタブレットでQRコードを読み取って直接意見を県に伝えることができるようにすると良いなと思いました。
- ・もっとわかりやすく説明してほしい。

この計画のことをたくさん
の人に知ってもらうために、
本やチラシ、インターネット
のウェブサイトなど、いろい
ろなやり方で多くの人たちに
伝えることを考えていきます。
伝える時には、こどもや若
者にとってわかりやすい説明
になるように工夫します。

計画全体について

- ・計画の案に賛成。良いと思う。
- ・子どももおとなも楽しく暮らせる、幸福にするという意味の計画なのがよい。



この計画では、

- ・誰もが安心して子どもを生ま育てられる社会
 - ・すべての子どもがどんな環境で生まれ育っても、愛情に包まれ、夢と希望を持つことができる社会
 - ・すべての子どもが健やかに成長でき、将来にわたって幸せに暮らすことができる社会
- を一番大切な目標にしています。すべての子どもが幸せに暮らせる宮城県になるように、取り組んでいきます。

計画の対象となる人について

- ・「日本国籍の子供」を対象に税金を使うようにしてほしいです。過度な「多様性」は少数意見を重視することになり、民主的ではなくなります。

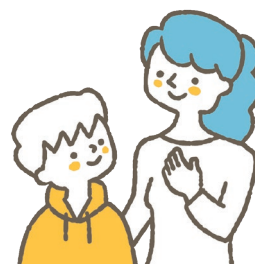
この計画は、宮城県に住んでいるすべての子どもと若者が対象です。県に住むみなさんのいろいろな考え方や違いを大切に、一人ひとりの意見を尊重できるようにしっかりと対応していきます。

子ども・若者の意見の反映について

- ・子供や若者の気持ちを大切にするのはとても大切だと思いました。子供や大人も幸せになってほしいから、子供の意見を聞けるような場をもう少し作ってほしいです。子供も大人もみんなが幸せになることが、一番の幸せです。
- ・子どもが運営するイベントや講演を開いてほしいです。いつも大人の話の聞いているだけだとアウトプットできる場所が少ないと思います。

いただいた意見をもとに、計画のなかの「子ども・若者の社会参画・意見反映」という項目で、宮城県の取組の進め方に次のような意味の文章を新しく加えました。

「宮城県や県内の市町村が幅広く子ども・若者の意見を聴き、その意見を活かすための取組を行ったり、その取組を支援したりします。」



まちづくりについて

- ・こどもが遊ぶような施設や場所をもっと増やしてほしい。

(例) 児童館、公園、公共施設、娯楽施設、ショッピングモールなど

- ・こどもを支援する施設があるなど、住みやすい環境があると良いと思う。

こどもが遊ぶところ、たとえば雨の日でも遊べる建物や、公園、公共の施設などは、主に市や町、村が、その地域に住んでいる人たちのことを考えて作っています。国や県は、その支援を引き続き進めていきます。

また、いただいた意見をもとに、計画のなかの「住みよいまちづくりの推進」という項目で、宮城県の取組の進め方に次のような意味の文章を新しく加えました。

「子育てをしやすい環境をととのえるため、子育てを支援するような場所（例えば赤ちゃんにご飯をあげる「授乳室」など）を宮城県内に用意したり、市や町、村が建物を作りたいときに国のお金の支援などを受けられるようにお手伝いします。」

こどもの貧困について

- ・ただお金を渡すのではなく、モノや医療費の支援をすることが大事だと思う。
- ・お金が足りず生活や進学に困っているこどもやその家族をサポートする仕組みづくり、居場所づくりを大切にしてほしい。

この計画では、すべてのこどもが生まれた場所や家がどんな環境でも関係なく、将来にわたって、心も体も、友達との関係でも、幸せだと感じられる状態（ウェルビーイング）で成長できる社会づくりを大切にしています。

そのために、困っている家庭へのお金の支援だけでなく、学校でしっかり勉強するための支援（就学支援）や、社会で一人立ちできるように仕事を見つける支援（就労支援）など、みんなが自分で社会で生きていける力（社会的自立）をつけられるようないろいろなサポートに取り組んでいきます。

SNS・ゲームについて

- ・SNSやゲームを悪者とするのではなく、将来どう役に立つか、学びとしてとらえてほしい。

県では、全国調査でテレビやスマホ、ゲームなどで映像を見る時間（スクリーンタイム）が、全国平均よりも長いという結果が出ました。そこで、宮城県の教育委員会が決めた計画のなかで、「早寝早起き朝ごはん」などのきちんとした生活リズムや、体を動かす運動の習慣をしっかり身につけるための取り組みを進めていくことにしました。SNSやゲーム自体を悪者とするのではなく、良い生活リズムや運動習慣と両立できるように考えていきます。



東日本大震災からの支援について

東日本大震災を経験した人たちの支援をするということは良い活動だと思います。

この計画のなかには、子どもや若者の安全と安心を守るための取組について書かれており、東日本大震災を経験した子どもや若者に対する支援を続けていくことも、計画の中でしっかり書いています。

出産前のサポートについて

もっと子供を産む前の親に寄り添うようなサポートがあるといいなと思いました。特に、精神的な支えも大事にして欲しいと思いました。

これからお父さんやお母さんになる人たちが、子どもを産む前に不安になったり助けが欲しくなったりしたときに、相談にのったり気持ちを支えたりすることは、それぞれの市や町、村が行っています。宮城県は、この活動をしっかりと支援していきます。

また、計画のなかの「産前産後の支援充実・体制強化」という項目で、宮城県の取組の進め方の文章に次のように言葉を付け加えました。

「市や町、村が行う、【赤ちゃんを産む前のお母さんやお父さんへの相談に乗る手伝いや】、赤ちゃんがいるお家に行く活動、赤ちゃんの成長を調べる健康診断など、色々な機会を通して、おうちの人が困りごとがあるときに、すぐに相談できるような仕組みをもっと便利で安心なものにしていきます。」

学力向上について

学力を向上するための支援や授業の支援を行ってほしい。

この計画には、先生がもっと教えるのが上手になるように取り組んでいくことを書いています。

全国テスト（全国学力・学習状況調査）の結果の分析などをしながら、すべての子どもが自分から進んで学び続ける力を身につけられるようにします。市や町、村の教育委員会と協力して、宮城の子どもたちの学力が上がるように一緒に取り組んでいきます。

特別支援教育について

障害のある・ないにかかわらず同じように学習に取り組めるといったところが良いと思います。

この計画では、特別なサポートが必要な子どもや、その家族の気持ちを大切にして、すべての子どもが住んでいる地域の小学校や中学校で、友達と一緒に勉強できるような学校の環境づくりを目指して、これからも、それをもっと進めていきます。

居場所づくりについて

- ・勉強場所など静かなところをふやしてほしい。

この計画では、学校がない放課後や休日に、こどもたちが安全で安心して過ごせる場所（居場所）を増やすことを大切にしています。ここでは、みんなが勉強をしたり、いろいろな体験をしたり、たくさんの世代の人たちと交流できるような仕組みを作ることを進めていきます。

心や体の健康等について

- ・もっと子供に性の学習をさせるべきだと思いました。男女問わずお互いをよく知ることは仲良くなる上でも必要です。
- ・健康教育で性的興味をおおるような事がないようにしてください。

この計画では、中学生や高校生になるころの体や心の変化について、正しい知識を持てるように、学校の先生や保健室の先生、お産を手伝う助産師さんなど、こどもの周りにいる大人たちが思春期のこどもたちのことをよく理解し、適切なアドバイスや手助けができるように、大人たちに向けた勉強の機会を支援していきます。

これから具体的な取組を進めていくときには、いただいた意見もしっかりと考えて、より良い方法で実行していきます。

いじめ防止について

- ・いじめを減らすこと、いじめをなくして安心して暮らせる場所をつくる取組が良いと思います。
- ・いじめを受けているこどもがサポートを受けられると学校も明るくなるなと思いました。

この計画では、安心して楽しく勉強できる場所を充実させることや、もしいじめがあった場合に早く見つけてすぐに対応するよう努力すると書いています。いじめは大きな問題になっているので、「行ってみたい」「楽しい」と思える学校づくりを進めていきます。

いじめを受けている子どもや、学校に行かないこどもや、行きたくても行けない状況にいるこどもについても、お家の人も一緒に相談できる場所づくりや、いじめが起これにくい、みんなが安心して過ごせる学校や環境づくりに力を入れていきます。



不適切な指導の防止について

- 先生が何か悪いことをした時の対処をもっと厳しくしたり、パワハラなどがされていないか確認してほしいと思います。

この計画では、先生による体罰（体をたたくなど、暴力で指導すること）や、間違っただ指導、行きすぎた指導については、どんなこどもに対しても絶対に許されないことであり、きっぱりとなくすための取組を強く進めていくと書かれています。いただいた意見もしっかりと考えながら、この問題に対応していきます。

将来の生き方について

- 勉強や進学だけでなく、たくさんの道があることを教えて欲しい。

この計画では「志教育」というものを取り組んでいくことにしています。これは、小学校から高校までを通して、学びたいという気持ちや将来自分は何をしたいかを真剣に考えたり、大人になって社会で働くときに必要になる力や態度を身につけられるように応援する教育です。いただいた意見は、この「志教育」を進めていく中で、しっかりと活かして取り組んでいきます。

その他の意見について

- 勉強でわからないことがあった時に先生に聞いたので、学校の休み時間を増やして欲しい。

いただいた意見は、その仕事を担当している人たち（部署）にきちんと伝えます。いただいた意見のような前向きな気持ちを大切にしながら、県のいろいろな取組に活かしていきます。

- 高校の授業料の無償化をお願いしたいです。

高校の授業料や大学の学費を無料にすることは、日本のどこでも無料となるように、国が進めていくべきだと考えています。今、国は高校の授業料を令和8年度から無料にする決めています。宮城県はこれからも、「全国知事会（全国の知事が集まる団体）」などを通じて、子育てをしている人たちのお金の負担が軽くなるように、国が責任を持ってこの取組を進めていくよう、強くお願いを続けていきます。



けんみん ぼきん
・県民の募金やクラウドファンディングで集まったお金を利用して、県から各市区町村に“みやぎこども幸福支援金”として助成を出すのが良いと思います。

みやぎ けん
宮城県では、県のお金（独自の財源）を使って、市や町、村が子育てを支援する活動をする時に、お金を渡して（助成して）支援しています。いただいた意見は、これからもこの支援を続けていく時に参考にさせていただきます。

けんせいしょうねんいくせい じ ぎょう
・県青少年育成事業として毎年行っている、「ネクストリーダー養成塾」への参加補助金を出すことで、気軽に参加することができ、リーダー性溢れる生徒の育成にもつながるとおもいます。

ネクストリーダー養成塾は、将来、社会で活躍するリーダーを育てるため、宮城県内の中学生がグループで話し合うなどの活動を通して、広い考え方や、自分で進んで行動する力、みんなと協力する力を身につけられるよう、毎年さまざまな研修を企画しています。いただいた意見は、これからこの研修をもっと良くしていくための参考にさせていただきます。

もっと詳しく知りたい人は

すべて いけん ていげん たい みやぎ けん かんが かな
・全ての意見と提言に対する宮城県の考え方はこちら



<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kosodate/public-comment-miyagi-kodomo-policy.html>

かんせい
・完成した「みやぎこども幸福計画」はこちら



<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kosodate/miyagi-kodomo-policy-2025.html>